

第32回 NIE 新聞記事感想文コンクール <要項>

主催 新潟県新聞活用教育（NIE）推進協議会

後援 新潟県教育委員会，新潟市教育委員会，朝日新聞社，毎日新聞社，読売新聞社，産経新聞社，日本経済新聞社，新潟日報社，共同通信社，時事通信社

1 開催の趣旨 「言葉と社会との出会い、確かな力」

新潟県新聞活用教育（NIE）推進協議会（以下、県 NIE 推進協議会）では、新潟県内の児童生徒の活字に親しむ活動の一環として、「新聞記事感想文コンクール」を開催します。新聞を通して得た情報をもとに、「読み取り、考え、自身の言葉で考え整理する」活動を通して、学力向上の一助になればと願っています。

（参考）「新聞記事感想文コンクール」は、1994年2月新潟県教育委員会、県小・中学校教育研究会、現場の先生、大学関係者、新聞6社が参加して「県 NIE 推進協議会」を設立したことを記念し、第1回コンクールが開催されました。現在は、当協議会が主催し新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新聞・通信社8社が後援する形で毎年開催されています。

2 対象 小学校、中学校、中高一貫教育学校、高等学校、特別支援学校在籍の児童生徒

3 感想文の内容

(1) 朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、新潟日報社、共同通信社、時事通信社の、令和6年9月以降の紙の新聞記事やデジタルの記事を読んで、その記事を題材にして書くこととします。上記各社の子ども向け新聞の記事も対象とします。テーマは自由です。

(2) 「記事」は政治、経済、地域行事、環境、福祉、投書など、記事内容を問いません。

(3) 未発表作品に限ります。他のコンクールや投書などに応募した作品は選外とします。

(4) 作文に、読んだ新聞銘柄や紙の新聞記事かデジタルの記事かなど、○で囲んでもらいますが、選考時に一切考慮しません。

4 字数 本文 600 字以上 800 字まで

5 書き方

(1) 市販 400 字詰め原稿用紙、又は別添えの原稿用紙を使用すること（B4,A3 に拡大してもよい）。（ワープロソフト使用可）

(2) ワープロソフトでなく手書きの場合は、HB 以上の濃い鉛筆を使用すること。

(3) 感想文の題名、呼んだ記事の見出し、読んだ新聞（○印）、紙の新聞記事かデジタルの記事か（○印）、子ども向け新聞か（○印）、日付、学校名、学年、名前（フリガナ）を記載する。

(4) 市販の原稿用紙を使う場合は、左上をホッチキスで止めること。

(5) 複数応募の学校は、送付の際に応募総数を封筒の表に記載すること。

6 締切 2025 年 9 月 4 日（木）[事務局必着]

7 作品の送付先と問い合わせ先

〒 950-8535 新潟市中央区万代 3-1-1 新潟日報社内

新潟県 NIE 推進協議会事務局 電話 025-385-7468

8 選考と発表

- ・当協議会が委嘱する審査委員で、「大賞」「会長賞」各 1、「新聞・通信社賞」8、「佳作」数点を選び、10月2日に審査結果を発表（予定）し、中旬の新聞週間にあわせて表彰します。

- ・学校や学年単位の応募で、集団として高いレベルにあるときは「団体賞」を贈呈します。

- ・大賞と会長賞、新聞・通信社賞の 10 作品は新聞紙面に掲載される予定です。

（注意）応募作品は返却しません。（必要に応じ、応募前にコピー等をお取りください） 以上